

阿武隈急行株式会社



沿線住民の足として、365日安全で快適なサービスを提供します



年間200万人の利用者を運ぶ鉄路が 福島・宮城両県沿線の活性化を担います

当社は、福島駅と宮城県の大森駅間54.9kmを結ぶ第三セクターの鉄道会社で、1988(昭和63)年の全線開通以来、地域住民の通勤通学の足として、また観光客の移動手段として、安全で快適なサービスを提供しています。沿線の自然豊かな景色や観光スポットを利用した観光振興にも力を入れており、特別列車の運行や地域イベントとの連携などを積極的に行っています。今後も地元根差した鉄道インフラとしての利便性を高めながら、乗客を安全に運ぶだけでなく、旅の楽しさを提供することで交流人口を増やし、沿線自治体と協力しながら地域の発展と暮らしの向上に貢献していきます。

事業内容

- 鉄道事業／福島駅(福島県)～槻木駅(宮城県)間の鉄道運行
- グッズ販売
- 企画切符の販売
- イベント列車運行



代表メッセージ

代表取締役社長
とみた まさのり
富田 政則さん

資格がない人でも、鉄道が好きという気持ちがあれば大丈夫。普通科出身で整備や保線業務を行う社員もいますし、運転士の資格取得には、社内での座学や実務研修も行っています。若手社員が中心となって発案・計画・実行してイベントを行うなど、意欲ある社員のやりたいことを会社がバックアップする体制も整っています。



楽しい・好きという
気持ちが、やりがいや
働きがいにつながります

働きやすい取り組み

各種資格取得費用の支援制度

動力車操縦者運転免許(運転士)取得研修、土木・電気・信号通信・車両業務研修、業務に関する各種資格取得は会社の全額負担で取得できます。

若手が主導！プロジェクトチーム

若手社員がSNSを駆使した情報発信やイベントの企画を通じて部署の枠を超えて連携。組織全体の活性化を推進しています。

特別有給休暇の付与制度

新型コロナウイルスやインフルエンザに感染した場合には特別有給休暇を付与し、治療に専念できる環境づくりに取り組んでいます。



立ち上がったばかりのプロジェクトチームでは、「電車と綱引き体験」など、若手社員の新たな視点とアイデアでイベントを実施。普段は乗客と接することのない社員も、住民との交流を大いに楽しんでいます。



社外で行うことが多い動力車操縦者運転免許取得研修も、社内で行えるから短期間で取得が可能。

子育て世代インタビュー

総務営業部総務課 経理係長

かたおか
片岡さん

出産後、育休を1年取得し、子どもが3歳になるまで時短勤務しました。経理担当だけでなく総務課全体でフォローしてくれたので、不安なく休むことができました。普段から社員同士のコミュニケーションが活発で、子どもの体調不良で急に休むことがあると声を掛けてもらえます。頼れる存在が身近にいるのが心強く、仕事を辞めようと思ったことはありません。最近、男性社員で子どもの看護休暇を取得する人もいますので、子育て世代への理解が広がってきたと思います。

仕事も子育ても
自分のペースで
元々張れる環境が
整っています



企業データ



阿武隈急行株式会社

〒960-0773
伊達市梁川町字五反田100-1
TEL:024-577-7132
従業員数 93名(男性88名・女性5名)
休暇日数 年間121日
(車両係員・施設係員・本社事務係員の場合)



詳しくは
こちら！

採用
担当者
から

職場見学は随時受付中です。お待ちしております！
(採用担当者 菱沼 E-mail: abukyu@helen.ocn.ne.jp)

先輩のメッセージ

運輸部車両課 運転士

しぶや
渋谷さん(勤続5年目)



お客さまからの
感謝の言葉が
一番のやりがいです

資格取得まで、先輩方がしっかりフォローしてくれます

接客の仕事がしたいと考えていて、お客さまと身近に接することができる点に魅力を感じて入社しました。駅での改札業務や車掌として経験を積んだ後、国家資格である動力車操縦者運転免許を取得し、運転士としての勤務は2年目になります。初めて1人で運



転した時は緊張しましたが、どんな時でも冷静な判断ができるようになるなど、自信がつくにつれてやりがいも感じます。朝夕以外はワンマン運転のためお客さまと直接話す機会も多く、自分の希望していた働き方ができていると感じています。

1日のスケジュール(早番の場合)



業務部施設課
土木軌道係員

たなか
田中さん(勤続4年目)



“線の下力持ち”
として、安全安心な
運行を支えています

仕事は計画を立てて行い、休みも取りやすい環境です

元々鉄道が好きで、中学生の時の職場体験で当社の仕事を体験し、「ここで働きたい」と思いました。現在は線路の検査や修繕などを担当しています。作業は主に日中に行い、軽微な修繕はその場で、大規模なものは計画を立てて行います。基本的に土日は休



みで、夜間しかできない作業時には夜勤もありますが、その分は別の日に休むことができます。専門的な分野の作業を覚えるまでは大変だと思うこともありましたが、経験と知識を重ねることによりできるようになって、やりがいを感じています。

1日のスケジュール

